

近年大型化している台風による風水害や、近い将来高い確率で発生するとされている大規模地震等により、広範囲にわたる長時間停電の発生が考えられます。停電からの再通電時において、電気機器又は電気配線からの火災が発生するおそれがあることから、下記を参考に通電火災対策をお願いします。

## 記

- 1、停電中は電気機器のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから離脱してください。
- 2、避難のため自宅を離れる際は、ブレーカーを落としてください。また、地震時に一定の揺れを感知した場合、自動的にブレーカーを落としてくれる「感震ブレーカー」という製品もあります。
- 3、再通電時には、漏水等により電気機器等が破損していないか、配線やコードが損傷していないか、燃えやすいものが近くにないかなど、十分に安全を確認してから電気機器を使用してください。
- 4、建物や電気機器に外見上の損傷がなくても、屋内配線の損傷や電気機器内部の故障により、再通電から長時間経過した後、火災に至る場合があるため、煙の発生等の異常を発見した際は直ちにブレーカーを落とし、消防機関に連絡してください。